

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2021年2月26日

事業所名 ひなた園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準を満たした面積である事は、職員間で共通理解が持っていました。その上でやや手狭に感じるので、内装等を変更し改善に努めて行こうと話し合いました。
	②	職員の配置数は適切であるか	利用人数が少ない日にも、職員の手が必要と感じる事があります。担当組を工夫して、安全に配慮した運営をしていこうと話し合いました。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2年目を迎え、クッションの貼り付け等行い日々安全対策に努めています。トイレの内装等、改善点はあるようだという意見が出ました。改善に努めます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	振り返りを行い、改善点を素早く現場に落とせるようにしています。ミーティングの時間も活用し、職員が園の方針を理解した上で支援にあたる体制を作っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	プリントにQRコードを載せた形式でアンケートを実施しています。親御さんに手渡ししながら説明し、ご協力をお願いしています。職員全員で結果を確認し、支援に活かすようにしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	昨年度分がホームページに掲載している事を、改めて確認しました。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現状は実施していません。今年度、実地指導には来ていただいた事は職員間で共有し、業務の改善に努めています。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	部署毎の研修会に参加し、内容を園内でも共有しています。 別事業所の業務に参加させて頂く形での研修には、積極的に取り組んでいます。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別支援計画の作成の担当を決め、普段の様子把握から保護者とのやり取り・作成まで行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者登録カードという形で、状況把握に努めています。現場で手に取れる場所に配置し、いつでも確認出来る様にしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティングの時間に活動プログラムの内容や狙いについて、職員で話し合っています。 細かなプログラムの取り組みに関しては、決定後現場職員と共有してから支援にあたっています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	プログラムの主だった活動を公園、主活動、制作、レクを週ごとにローテーションして、固定化しないように努めています。 内容も季節に合わせたものを意識しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	通常時、長期休暇、感染症を受けての休校に合わせて開所時間を変更しています。 プログラムの内容も、時間に合わせて変更しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別支援計画の制作は、担当職員を設定し保護者との話し合いを行った上で行なっています。 職員は園での様子と希望を踏まえ、個別活動と集団活動を組み合わせ作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	事前に園としての狙いや方針を職員間で共有するようにしています。 週間での予定表や担当表を作成し、事前に確認して頂く体制を取っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後には職員で声を掛け合い、情報を共有しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用内容という形で、毎回記録しています。特別な記録に関しては拾い上げ、次回以降の支援に活かせるように職員間で検討・共有しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	同法人相談支援事業所実施のモニタリングに、積極的に参加しています。 保護者とは毎回お話をさせて頂き、現状把握に努めています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	様々な支援がお届け出来る様に心掛けていますが、地域への参加など課題もあると感じています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	個別支援計画の担当者が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	プリントやホームページから、情報を得るように努めています。 学校迎えの際にも、情報共有させていただいています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現状、体制が整っていない為受け入れできていません。 利用の方々の持病や服薬状況、アレルギー等の事前把握に努めています。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	同法人内の児童発達支援センター等と、情報共有をしています。 ご見学の際にも、保護者の方から就学前の様子をお伺いしています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	今年度のご利用が、小学校1・2年生の為該当の方がいません。 別事業所との情報交換には努めています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	同法人内の児童発達支援センターとの情報共有や、研修に取り組んでいます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	積極的に施設外に出て、出先で交流を持つようにしています。 感染症の落ち着きが見られれば、地域の図書館や児童館にも出向きたいと考えています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	園としては参加していませんが、部署の代表者が参加しています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	降園時に出来た事をたくさんお伝えしています。そこから次の目標を見つける等して、支援に役立てるようにしています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者に対してトレーニングをする立場と考えていないので、行っていません。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	ご見学の際に、ご利用負担額などについて丁寧にお伝えしています。 今年度は感染症を意識した対応をさせていただきました。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	ご相談頂いた際には、寄り添った姿勢で回答するように努めています。必要に応じて、事業所職員や、別事業所職員との相談もしています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者参加の活動は、今後も計画しておりません。 園庭が、交流の場になっているようにお見受けいたします。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	対応の体制は整え、頂いた際には真摯で即時的な対応を取らせていただいています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月『ひなた便り』を発行しています。今後もお届けを続けていきます。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	個人情報を含む書類は本部に保管し、必要に応じて事業所に持ってくる形を取っています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	イラストや写真を含むカード等を使い、構造化しています。職員は常に利用者に寄り添う姿勢で、意志の疎通に努めています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	どんな方にも気軽に見て頂けるような園の運営を心がけています。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	策定し、掲示での周知に努めています。今後は会報に載せるなどし、より一層の理解に繋げていきたいと考えています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	訓練を行っています。 今後は予定や様子を会報に載せていきたいと考えています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	埼玉県のチェックシートを使用し、職員全体で研修を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	どのような場合が身体拘束にあたるのか、職員が理解を持って支援にあたっています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者へアレルギー確認表という形で確認を行っています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	作成し、ミーティングの時間を使い職員間で共有しています。 利用者や職員の動きも検討し、支援に活かすようにしています。